

Hikari High School Alumni association

光潮会報



山口県立光高等学校

光潮同窓会

第69号

平成28年8月

も く じ

「同窓会の支援」母校生徒が輝きますように	守田義昭	3
創立八十周年を迎えて	河口郁史	4
関東支部から	藤井政道	5
同窓生のつながり	荒川秀樹	6
「つなぐ」～世代を超えて同窓生の心をつなぐ	藤井政彰	7
特別寄稿「還暦バンド」	福田勝洋	8
故郷雑感	鎌田誠	12
部活動の足跡		13
大学・短大等の合格者数(過去六年)		21
就職状況		23
関西支部総会報告	小林一登	24
役員一覧		24
編集後記		25

平成二十八年度 光潮同窓会総会のご案内

日時 平成二十八年八月十三日(土)

十一時～

場所 ホテル松原屋

光市虹ヶ浜三丁目九十六

(電話〇八三三二一七二一〇〇四七)

次第

11時～11時30分 総会

11時45分～14時 懇親会

会費 三千円

本年の当番幹事は、卒業年次の末尾の数字が、昭和は6と1、平成は3と8の卒業生の皆さんです。

当番幹事の学年は、この機会に合わせて、同期会を是非開催してください。

表紙の題字

柏木裕美さん
(昭和53年卒)

表紙の皿

石津雅美さん
(昭和44年卒)

東京在住

「同窓会の支援く母校生徒が輝きますように」

会長 守田 義昭 (昭和42年卒)



光高等学校の卒業生をはじめ、同窓会に関係される皆さん、平素から光潮同窓会に対するご支援とご協力に感謝いたします。

私は、同窓会の一般的な目的、役割として、1点は卒業生相互の親睦と交流、2点は卒業生に対する支援、3点は母校と在校生への支援と協力だと考えています。

とりわけ、私は、在校生に対する応援に力を注いでいます。

今回は、同窓会の活動状況、とりわけ、母校と現役の後輩諸君に対する支援の状況についてふれることにします。

最近の母校の状況につきまして、生徒の服装や態度、素行面などは、以前と比べて、格段に改善

されていると思います。

また、大学などの進学状況の現状を見ますと、以前よりかなり良くなっています。残念ながら、まだまだ、今少しといった状況が続いていると思います。

大学進学状況は、学校の資料の提供を受けて、この会報の21ページから23ページにかけて、「大学・短大等の合格者数」を掲載しています。

これは、過去6年分を掲載していますので、母校の進学状況の推移がよくわかると思います。

先輩諸兄、同窓会の皆さん、じっくりとご覧ください。

さて、本年3月から、公立高校の入学試験は、学校区が撤廃され、全県1区となりました。

県内全ての公立高校をどこからでも受験することができるようになりました。

こうなりますと、母校の実力がますます問われることになります。

次に、具体的な支援状況についてふれることにします。

生徒の部活動の具体的な支援として、体育系の部活動では、中国大会以上の大会、全国大会、世界大会などの出場選手への支援金や激励金をお渡ししています。

また、文化系の部活動では、吹奏楽部定期コンサートへの支援、放送部の市民夏季大学などの司会進行に支援しています。

さらには、毎年秋、各界で活躍している卒業生を招いて、「光潮講話」を開催しています。

この卒業生講話は、在校生が、各界で活躍の先輩の仕事や生き方、人生の歩みなどからの教訓を見聞することにより、今後の進路や学校生活などに生かすため、同窓会が学校との共催により、卒業生を招聘して開催しているものです。

昨年は、昭和49年卒業の福田勝洋さんを講師に、福田さんは、「室積光」(むろづみ・ひかる)として、

作家、俳優、劇団「東京地下鉄劇場」の主宰者など、多方面で幅広く活躍するマルチ人間、まさに「卒業生の輝ける星」です。

その福田さんは、旧制七高生の言葉を引用し、在校生に「天才的な馬鹿になれ」と終始熱弁をふるいました。

生徒は、先輩からの熱いメッセージに感銘したものでした。

このような支援により、母校生徒が少しでも輝きますよう、同窓会は、今後とも引き続き、可能なかぎり支援していく所存です。

最後に、あらためて、卒業生の皆さんへのお願いですが、どのようなことでもかまいませんので、母校が少しでもよくなりますよう、在校生が素晴らしい生徒になりますよう、忌憚のないご意見やご提案を同窓会にぜひお寄せください。

同窓会では、どのような事柄にも、どのようなご意見やご要望に対しても、耳を傾けさせていただきます。

最後になりましたが、同窓生をはじめ、関係の皆様のおまするご活躍とご健勝を祈念し、結びとします。

創立八十周年を迎えて

校 長 河 口 郁 史



今年も、光潮同窓会総会が盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。また、光潮同窓会の皆様方には、平素から物心両面にわたり多大なる御支援・御協力を賜り、心から感謝申し上げます。

御案内のように、今年本校は、創立八十周年、まさに人間でいう「傘寿」の年を迎えました。本校の源流は、昭和十一年に創立された山口県立室積高等学校と、昭和十七年に創立された山口県立光中学校の二校にあります。その両校を、昭和二十四年に統合し、現在の光高校が誕生しています。当初は、それぞれの校舎を使う校舎制

を取っていましたが、昭和二十八年に両校舎を統合し、現在の武田薬品の敷地内に中央校舎が建てられました。その後、昭和四十三年に現在地に移転されています。

本校は、創立以来、一万九千八百七十九名の有為な人材を輩出し、地元光市はもとより、県内外の各界で活躍されています。同窓生の皆様が築いてこられた数々の実績は、本校が更なる飛躍と遂げる上での活力の源であつと、この記念すべき年に光高校に在籍する生徒・教職員一同が、最も誇りに感じているところでもあります。

現在、学習面においては、進路希望に応じた選択幅の広い教育課程を編成できる単位制を核として、生徒一人ひとりの良さや可能性を更に伸ばすとともに、進路実現に求められる確かな学力の定着に努めています。さらに、学びの質や深まりを重視する授業改善や、課

外や個別指導等のきめ細かな学習支援の充実など、上級学校への進学に重点を置く取組を積極的に推進しています。

部活動につきましては、これまでも輝かしい実績を上げています。ヨット部のインターハイ、国体さらには世界大会出場をはじめ、陸上部がインターハイ、放送部がNHK杯全国高校放送コンテストに出場すると共に、定時制においても、陸上競技で全国大会出場を決めるなど、各種大会で活躍しています。また、今年度から、ヨット部に加え、硬式野球部、陸上競技部、女子バスケットボール部の強化指定制に着手し、これから益々の活躍が期待されるところです。

さて今日、情報化やグローバル化等が急激に進展する変化の激しい時代を、たくましく、しなやかに生きていく人材を育成するため、学校教育の進化が求められています。また、人口減少の克服に向けた地方創生の取組が本格化し、将来の本県を支える人材の育成を担う教育の役割は大変重要となっております。

こうした中、本校では、時代の

変遷に関わりなく、校訓「至誠一貫、質実剛健、堅忍不拔」の精神を脈々と受け継ぎながら、文武両道の校風を基礎として、「知・徳・体・情の調和のとれた発育と、社会の発展に寄与する生徒の育成」を教育目標に定め、学校、家庭、地域が連携・協働し、地域の期待にしっかりと応える魅力ある学校づくりを推進しています。今後とも、こうした取組を積極的に展開し、夢の実現に向け挑戦を続ける生徒、さらには、郷土に誇りと愛着をもち、将来、自らが中心となって「ふるさと創生」の一翼を担う生徒、こうしたたくましい生徒の育成をめざしていきたいと考えています。

本校の校歌の一節に「輝け光あけよその名 我が学び舎に榮えあれ」とあります。創立八十周年という節目に当たり、改めてこの校歌の趣旨を深く胸に刻み、母校の益々の発展に尽力して参りますので、同窓生の皆様には、変わらぬ御支援・御協力を重ねてお願いいたします。

結びに、光潮同窓会の益々の御発展と同窓生の皆様方の一層の御活躍をお祈り申し上げます。

支部だより

関東支部から

関東支部広報誌「うしお」46号(平成28年5月発行)より

関東支部事務局長 藤井 政道(昭和47年卒)

米寿の絵画展

旧制光中学(五年制)光高の前身)の第一回卒業生の『濱岡眞』(千葉・市川市在住)さんが米寿を迎えるにあたり初個展を開催した。今までグループ展や合同展には数多く出品してきたが、個展は初。四月七日(木)～十二日(火)の六日間、JR総武線の下総中山駅前ギャラリー樹(たつき)に若い頃の習作から最近の大作まで三十余点。八日にギャラリーを訪ね十年ぶりに先輩と再会した。小生が関東支部会長時、銀座の画廊での二回の「光潮展」や光市文化センターの里返り「光潮展」などに出品。関東支部の財政再建のために絵画二点を寄贈して頂いた大先輩である。

濱岡先輩は昭和二十二年三月に旧制光中を卒業後、戦後に新設された光税務署に入局、向



「安曇野・五月」F15

学心にもえ、昭和二十八年、東京国税局管内に転勤、昭和五十年に独立し江戸川区のJ新小岩駅近くに税務会計事務所を構えた。現在は長男が引き継ぎし先輩は会長的立場で裸婦デッサン教室に通うなど画道に専念している。うらやましい老後。次男の『浜岡賢次』さんはギャグ漫画家として活躍中。週刊少年チャンピオン等に連載を続けている。

る。代表作は『浦安鉄筋家族』。濱岡先輩は昭和十九年九月、旧制光中学三年生で松山海軍航空隊に入隊した元甲種飛行予科練習生十五期である。敗戦になり旧制光中学に復学、昭和二十年九月に旧朝鮮から引き揚げて転入学した小生にとっては三年先輩であり現浅江小の旧制光中学校舎に短期間ながら通学した同志でもある。

(文責・S26年卒、西崎好二)

編集後記

成人発達理論を物語仕立てでわかりやすく解説した書籍『なぜ部下とうまくいかないのか』を読みました。著者の加藤洋平さんはバード大で学ばれた方で、光市出身です。あとがきの中で「山口県光市室積は、今の私を根底から支え続けてくれる母なる土地である」とおっしゃっています(中村文彦)

＝ 関東支部事務局ご案内 ＝

〒164-0012
東京都中野区本町6丁目34番21号
アポロ環境衛生(株)内
事務局長 藤井政道(昭和47年卒)
TEL 03(5340)3055
FAX 03(5340)3088
Eメール info-b@apollokannkyou.co.jp

平成28年度

関東支部総会のご案内

日時 10月29日(土) 13時～
場所 主婦会館プラザエフ

東京都千代田区6番町15
電話〇三(三三六五)八二二

最寄り駅 JR四ツ谷駅

(麴町口より徒歩1分)

同窓生のつながり

平成27年度総会・懇親会実行委員会副委員長

荒 川 秀

樹 (平成2年卒)

光高校では、「至誠一貫、質実剛健、堅忍不拔」の校訓のもと、楽しく、そして充実した学校生活を送った思い出があります。

さて、私は、平成27年度に松並実行委員長のもと、光潮同窓会の幹事をさせていただきました。光潮同窓会は、クラス会や同期会とは違い、光高校を卒業された方全員を対象として行われる同窓会です。ですから、これまでの歴史やその当時の様子など、年代によって様々な出来事をお伺いすることが楽しみでもありましたし、以前にも何度か参加をしたことがあります。余談ではありますが、大学の同窓会も年に1度山口市であり、こちらにも都合が良い時には参加をしています。

私は、充実した高校生活は送れたものの、友達や仲間はどちらか



といえは少ない方でしたので、同期の幹事に誘っていただいたことは本当にありがたいことであつたと思います。同期の仲間が集まつて、内容などを話し合い、当日までにすべきことを計画的に対応できたことは、やはり仲間の協力や支援があつてこそと実感しました。

また、同窓会の資金づくり、いわゆるスポンサー企業に対するお願いでは、どちらの企業にお伺いした際も、丁寧なご対応をいただ

くとともに、好意的にご協力をいただきました。多くの光高校同窓生の輩出によるご活躍や、同窓会幹事をされた諸先輩方の対応の賜物であり、感謝しながらお願いにまわったことが思い出されます。

今や、ネットやメールの時代で、なかなか膝を突き合わせて話をすることがなくなつたのではないかと感じます。そのような中で、同窓会の幹事として、同期の仲間と喧々諤々の話し合いが出来たり、スポンサー企業依頼でお伺いした際に昔話に花が咲いたり、当日の同窓会でも、諸先輩方からお話が聞けたことは、本当に有り難く貴重な経験であつたと考えています。今回、光潮同窓会の幹事をされた皆様は、大変お疲れ様です。毎年、こういう趣向を凝らし開催されるのが楽しみです。

最後に、光潮同窓会の益々の発展と光潮同窓会皆様のご健勝を祈念いたします。



情熱的なフラメンコのステージに飛び入り参加も続出

「つなぐ」く世代を超えて同窓生の心をつなぐく

平成 28 年度光潮同窓会・懇親会実行委員長 藤 井 政 彰 (平成 3 年卒)



光潮同窓会会員の皆様、本年も光潮同窓会の開催時期が近づいてまいりました。本年度は「平成 3 年度」卒業生が幹事をさせていただきます。

本年度のテーマは、「つなぐ」とさせていただきます。私が卒業した平成 3 年は、携帯電話が大ヒット商品であった年で、当時の携帯電話はかなり高価なものでした。当時から、今のように携帯電話があれば、卒業後でも高校時代の友人たちと連絡が取り合うことができたでしょうが、住所の連絡先を交換しても進学・就職先に進んでいく日々の

生活の中でいつの間にか友人との連絡も希薄になっていったように思います。この度の光潮同窓会の実行委員会のメンバーに開いても同じような感じでした。

あれから 25 年が経過した現在、フェイスブックやツイッターラインなどつながる方法が普及しています。切れかけていたつながりが、「光潮同窓会」をキーワードに私たちの世代をつなぐことができるのではないかと、そこから先輩、後輩に波及していき、大きなつながりをつくれないうかという思いで、本年度テーマを「つなぐ」とさせていただきます。

本年度より私の息子も光高校にお世話になることになりましたが、市外から通学される生徒さんも多く、私たちが過ごした頃とはなんとなく異質な感じがします。本年から

山口県の全日制通学区域が県内とされ、今後もこの傾向はさらに拡大していくと予想されます。私の進学先は長崎県で、そこから大阪で 6 年仕事をして、10 年県外で生活し家業を継ぐために帰ってきました。私たちの世代は市内出身の生徒ばかりで 10 年経過しても市内には多くの友人が残っており、この光潮同窓会を行う際にも多大な協力をしていただきます。

光潮同窓会の今後を考えると、生徒数も減り、市外在住者もおおいという状況で、本当に継続できるのだろうかと不安を感じます。

だからこそ、本年度の卒業生に多く参加していただき、しっかりとつながりを築いてもらいたい光潮同窓会が永くつながっていつてほしいと考えています。

世代を超え、頑張ってこられた先

輩、頑張っている同世代、これから頑張ってもらう後輩たちが一同に会し、活気ある楽しい同窓会になるように私たちが全力で準備・設営を進めてまいりますので、光潮同窓会の会員の皆様、是非ともご参加ください。8 月 13 日(土)光の地にて皆様のお越しをお待ち申し上げております。

平成 28 年度 光潮同窓会総会のご案内

日時 8 月 13 日(土)
11 時～14 時

会費 3000 円

場所 ホテル松原屋

(TEL 0833-71-0047)

作家・室積光さん特別寄稿

還暦バンド

福田勝洋（昭和四十九年卒）

特別寄稿

俳優として、また東京地下鉄劇場主宰として活躍してきた福田勝洋（Ⅱペ
ンネーム室積光）さんは居を光市室積に移して執筆活動が続けている。達人
シリーズや史上最強シリーズなどのヒット作に続き、6月には光市を模した
町が舞台の「埋蔵金発掘課長」も上梓。ますます好調な氏に、ダメモトで「光
潮会報に、次なる作品のラフのようなショートストーリーを」とお願いして
みたところ、快諾をいただいた。本誌のための特別寄稿をお楽しみください。

還暦バンド

昭和四十九年卒 福田勝洋

20 × 20

ペテンの類ではない。ま、それに近いが）の
で、時間は自由になる。ここはお手伝いせね
ば罰が当たると思い、同窓会開催一年前の企
画会議から参加させていただいた。

幹事諸氏の思いは一つ、
「一人でも多くの参加を募ろう」

である。

私が恐れたのは、開催通知が届かない同窓

20 × 20

昨年八月、我々昭和四十九年卒業生は、還
暦を記念して同窓会を催した。

私は現在、駄文を書き散らかして、あるい

は嘘八百を並べて生活している（註・詐欺、

生が出ることもあった。都合が悪かったり、出
たくない人はいいだろう。しかし、
「同窓会があったのか？ 出たかったな」
というのはまずい。
そのためには、まず年賀状で夏の開催を知
らせ、全員の所在を確認しようということに
なった。実際には諸事情から、半年遅れの六
月に往復ハガキ発送になってしまったのは残
念だ。何人かが開催を後から知る事態を招い
てしまった。これは本当に申し訳なかった、
と今でも悔いている。
ただ幸いにして、同窓会自体は大変盛り上
がった。
メインイベントは、四十二年前の光高文化
祭の再現「還暦バンド」の演奏だ。高校三年
生時に「チューリップ」をコピーしたバンド
が文化祭に出演した。それを再結成させて、
当時と同じ曲を演奏してもらう。

20 × 20

リードヴォーカルの N 君は今や山口県庁に
おいて「ぶちエライんぞ」という噂であった
ので、引き受けてくれるかどうか危ぶまれた
のであるが、依頼したところ、
「Y がやるならわしもやる」
という返答であった。Y 君はバンドの音楽
的支柱だった人で、現在もプロのピアニスト
として演奏活動をしている。当然腕は確か
だが、青森の大学で指導しているため、同窓
会の出席自体が微妙だ。どうやら N 君の返答
は、Y 君が断るもの、と見込んでのものだっ
たらしい。さすがお役人は断り方もスマート
だ。ところが N 君の目論見に相違して、
「やるよ」
と Y 君が即答してきた。ドラムの M 君は自
宅に防音室を作っている音楽好きだし、ギタ
ーの T 君も趣味で音楽活動を継続していた。
ベースだけは当時のメンバーが参加できず、

20 × 20

やはり音楽が趣味のH君がギターで参加してくれて、代わりにT君がベースを担当することになった。

こうして県庁では「ぶちエライ」N部長は追い込まれ、毎日ギターの練習を再開するハメとなった。

ところが予想に反して、というかある意味予想通りだが、これが楽しかったらしい。指にマメを作って没頭していた。他のメンバーも事情は同じで、M君邸でリハーサルを重ねるたびに、皆メキメキと腕を上げていった。

Y君が帰郷してきた本番前々日、M君自慢の防音室でついにメンバーが顔を揃えた。これも予想されたことであるが、演奏を聴いたY君からダメ出しの嵐があり、六十過ぎたオッサンたちは小学生のように素直に従った。

本番当日は私が司会を担当した。会の始めに「謎の虚無僧による光高校校歌尺八演奏」

20 × 20

が組まれていたが、演奏者S君が規格外の緊張を見せ、「S君の尺八による謎の曲」となったのはご愛敬である。

和気藹々とした空気の中で、アルコールが入っても緊張が抜けないバンドメンバー四人。Y君一人だけ余裕だ。

滞りなく会は進行し、いよいよバンドの出番となった。私の紹介によって一人ずつステージに上がる。一見すると風貌が国籍不明のM君については、

「皆様、東南アジアからの出稼ぎミュージシャンではございません。同級生です」と紹介したが、本人はド緊張の中にあってこれに気づかず、後日打ち上げの席で、

「福田、お前に話がある。あの紹介は何だ」と噛みついてきた。演奏の録音を聴いて初めて気づいたらしい。

「魔法の黄色い靴」「夢中さ君に」「心の旅

20 × 20



【プロフィール】

ふくだかつひろ ペンネーム室積光（むろづみ ひかる）20 歳で演劇の世界に入り、21 歳のとき神山征二郎監督「二つのハーモニカ」でスクリーンデビュー。その後 35 歳までは主に映画・テレビで活動。39 歳のときに劇団『東京地下鉄劇場』を設立した。46 歳で小説家デビュー。大ヒットした映画「北辰斜にさすところ」の原作「記念試合」のほか、「ドスコイ警備保障」、「達人 山を下る」（中公文庫）、「史上最強の大臣」「史上最強の内閣」（小学館）など意表をつくユーモアセンスにファンも多い。



バンドのメンバーは勿論、出席者全員大満足の演奏だった。N 君など、「福田、俺の葬式のとくにあの演奏を流してくれ。でも二曲目からでお願いね」と顔を合わせるたびに言う。一曲目の演奏は不本意だったらしい。そうになったら遠慮なく一曲目から流してやるつもりだ。そのとき

20 × 20

は本人は文句も言えん。ただ想定外の事実が一つ判明した。バンド再結成の提案は、「四十二年前の『あの演奏』を再び」という私の思い入れが発端だったのだが、ある女性出席者から衝撃の発言があったのだ。「あんなバンドあったっけ？」

20 × 20

故郷雑感

関西支部長 鎌田 誠 (昭和30年卒)

平成28年3月17日付光高便り(輝け 光)は卒業生特集号でした。

国語科教諭 西村 啓さんの「待たれている」と思う」と題するエッセイに心が動きました。

先生は御自分の体験から浪人生活を語り、学生を激励されているのです。

浪人生活の一義は目標の大学に入るために、今日も勉強、明日も勉強とただただ勉強の毎日である。しかし自分の努力が報われるのだろうか、明るい将来が来るのだろうかと絶えず不安との戦いでもあるのです。

先生は「社会は自分を必要としていないのでは」という疎外感に苦しんだと言っておられます。

先生はこの時に「待たれている」という言葉に支えられます。

「誰に(何に)?」特定の誰か

根拠は一切ないが、先生は「自分はきつと待たれている筈だ。」と自問して浪人時代を切り抜けられました。

そして今は未だ会わない「誰か」を「待つ」存在になりたいとおられます。

私も「浪人」しました。

先生のような前向きな人生観をもっていたかは疑問ですが、80歳になって振り返るときに「待たれていると思う」ことが如何に大切なことか、がわかるようになりました。

室積 光さん(福田 勝洋さん 昭和49年卒)のお話しをします。

さる六月のご来阪時、心斎橋で飲みました。昭和48年卒の水野さん49年の吉規さんも一緒にいました。

吉規さん、あんな室積は西之庄の出身じゃろう」と一発で当てる

ことができました。一人老同窓生が紛れ込んで時代の差はあれど皆さんのお心遣いもあって懐かし故郷、学び舎の話が弾みました。お店の経営者は同じく昭和49年卒の水野さんという女性の同窓生でした。

室積光さんの近作、《埋蔵金発掘課長》読了しました、タイムカプセルにのって故郷 光を漫步している気持ちでした。故郷は遠きにあるものではない、身近な暖かいものだと思いました。

光高卒業生の皆様にご一読をお勧めします。



光潮同窓会関西支部総会

副会長 小林 一登 (昭和四十三年卒)

関西支部の総会は楽しい、人数は多くないが兎に角楽しいのだ。昨年度開催された総会の様子を報告します。以前は大阪駅近くに会場があったが再開発とかで長年使ったホテルが無くなり場所を現在の「がんこ難波本店」に移すことになった。この場所が良い、と言っているのは私だけかもしれないが。地下鉄御堂筋線難波で下車、地上に出るとそこには雑踏のごとく大勢の人、若い人が多い。場所柄当たり前かもしれない、会場を探すが分り辛いこれも大阪の特徴かもしれない。近くに「なんばグランド花月」があり人だかりである。何とか会場を探し当てホッとす。そんなに広くない会場なので19名が座るとは一杯だ。光から送った景品の仕分けなど参加者全員で行う。この辺りが関西支部がアットホーム的と言われるゆえ

んかもしれない。総会の進行は森本さん。随分昔からの暗黙の決まり事。鎌田会長挨拶、ユーモアがあつて面白い、守田会長挨拶が続く、河口校長は初めての関西支部総会出席、今年も光市からは森重副市長に出席していただいた。懇親会の部の進行は山崎さん昭和49年卒で出席者の中では若手である。飄々とした面白さがあり笑いを取っていた。関東支部からは藤井事務局長に出席していただいた。乾杯の後杯を酌み交わしながら旧交を温めた。最も盛り上がったのが最後に行った井さんの応援パフォーマンス平成8年卒で京都在住、頼もしい限りの青年である。光からのお土産を手解散かと思いきや、二次会へ突入。場所は大阪の人でもあまり行かないところ、とはいえ昨今とはともきれいななり「ふつうの人」も行けるよ

うになったとか。その場所とは「新世界」皆で行けば怖くない的発想かもしれない。通天閣の下と言ったほうが分りやすい。「じゃりん子チエ」[ALWAYS 三丁目の夕日]の世界でもある。いまでもその雰囲気漂っている中で二次会の始まり、大いに盛り上がり気が付けば外は暗くなっていた。ふるさとの光を離れてみなさんすっかり関西人、しかし、どこかで光のDNAを持ち続けておられる、そんな風に感じた関西支部総会だった。

日 時 平成27年11月7日(土)

12時30分から

場 所 難波 がんこ難波本店

出席者 19名

商品提供 網重水産(有)

河村醤油(株)

カンロ(株)

光月堂

ささ乃や

瀬戸内タイムス

友松商店(株)

ふるさと郷土館

ホテル松原屋

室積光

平成 27・28 年度 光潮同窓会役員

職務	氏 名	卒	担当	職務	氏 名	卒	担当	職務	氏 名	卒	担当
顧問	河口 郁史		光高校校長	幹事	松尾 尚慈	S 39	企画・運営	幹事	松並 宏昌	H 2	広報
顧問	牛島 守彦		光高校事務長	幹事	大川 博幸	S 43	広報	幹事	佐々木孝高	H 3	広報
顧問	小林 信行		光高校教頭	幹事	兼清 照久	S 45	組織・会則	幹事	北川 宣孝	H 8	広報
顧問	沖田 道世		光高校教頭	幹事	河村 幸昌	S 47	組織・会則	監査	泉屋 孝	S 35	
会長	守田 義昭	S 42		幹事	来戸由起子	S 47	広報	監査	小林 敬典	S 45	
副会長	小林 一登	S 43	◎広報	幹事	木村 則夫	S 49	企画・運営	事務局	沖田 道世	S 55	
副会長	富田木綿子	S 54	広報	幹事	松原 祐介	S 61	組織・会則 全日制PTA会長	事務局	宮秋 孝史	S 57	
副会長	田中 謙史	S 61	企画・運営	幹事	芳岡 統	S 62	広報	事務局	橋本健太郎	H 4	
幹事	市来健之助	S 32	◎企画・運営	幹事	山根 猛寿	S 62	広報	事務局	水上由美子	H 2	
幹事	酒井 隆行	S 35	◎組織・会則	幹事	濱岡 正美	S 63	広報				
幹事	木村 幸子	S 37	企画・運営	幹事	小野美智恵	S 63	広報				



[サイト内検索](#)

[文字サイズ](#)
小 中 大



[新着情報](#)
[光潮同窓会について](#)
[光高校の実績](#)
[会員の活躍](#)
[校歌・応援歌](#)
[掲示板](#)

● 同窓会総会のお知らせ

平成 27 年度
光潮同窓会総会のご案内

日時 平成27年 8 月 15 日(土) 11時から

場所 ホテル松屋敷
光市虹ヶ丘3丁目9-16

当会幹事は、卒業生次の末席の数字が昭和は5・9
平成は7と5の卒業生の組合です。

● 同窓会報バックナンバー

光潮会報 第67号
平成26年8月

バックナンバーは
こちら

● リンク

山口県立光高等学校

光潮同窓会
Facebookページ

光潮同窓会
公式Twitter

● 掲示板

・ 2015年7月26日 [掲示板](#) 高校時代の出来事で一番印象に残っていること New

・ 2015年7月21日 [Twitter](#) そうそう！光は山口大会ベスト8入りなんよ！！母校だからめっちゃ応援してる！！
この勢いで次の下関国際にも勝ちちゃって今日の内から新ってるわ

▶ 掲示板一覧

● 新着情報

・ 2015年7月24日 [同窓会報](#) 平成27年度 同窓会総会及び懇親会のお知らせ New

・ 2015年7月24日 [お知らせ](#) 平成27年8月15日(日) 正午から 光潮同窓会ホームページ運用を開始します！ New

▶ 新着一覧





事務局 〒 743-0011 山口県光市光井6-10-1
 TEL 0833-72-0340 (光潮高等学校内)
 サイトURL http://hikari-dousokai.net
 ▶ お問い合わせ ▶ サイトマップ

Copyright (C) 2015 Kochidosokai All Rights Reserved.

情報をお寄せください

編集後記

昨春秋、3年ぶりで東京・四ツ谷で開かれた関東支部総会に出席させてもらった。関東支部では会報「うしお」の製作に携わっていた関係で、今号に特別寄稿してくださった福田勝洋さんやカンロの中原会長など第一線で活躍の方々、あるいは光空襲の体験談、草創期の光高でプロ顔負けの新聞を発行した猛者たちなど、多くの方のお話を聞かせていただいた。おかげで日常を飛び越えてフレンドリーな関係ができ、顔を見れば手を取り、思わずハグしたくなる方が何人もいる。

すっかり関東支部総会・懇親会の「顔」になった感の徳山ひかりさんもその一人だ。ますます磨きのかかった彼女のチャームینگな司会に、空くじなしの豪華福引、たまたま47年卒と同じテーブルに平成卒の若手が4人もいて会話が盛り上がったところに、応援団長だった平成8年卒の井浩幸さんと昭和46年卒の松尾清・関東支部会長、年の差25才の2人による「フレイフレイ！ひかり！」の競演「写真」。パワフルで懐かしくて最高だった。

さて、今号は第69号。光潮同窓会のホームページも開設されたことだし、区切りのいい70号を機に会報を少し見直しましょうと話しているところ

です。光潮同窓会と

光高の一層の発展に貢献する会報であるべく、皆さまのお知恵を拝借できますようお願いいたします。

広報部員

来戸由起子

(昭和47年卒)



松尾団長の雄姿。井団長は動きが早すぎて撮影失敗

山口県立光高等学校校歌

光高校校歌選定委員会 作詞
信時 潔 作曲

♩=108 ca. 力強く
mf

1. きた ぼ う の ひ か り さ み ん と し て
2. た かる きく りぶ そん か の の す ね い を と くり
3. ひ かる うきく りぶ そん か の の す ね い を と くり

いま 一 ま ぞ あ も け ゆ く し ん にな ほ ん
ま 一 も とる もせ とい めぎ の の あじ さ ゆ なう ゆじ うん

すけ お う の な だ の あ ら し お 一 に
し か せい つ ま と ども の と ふ め を と り 一 みて

き た え み が か ん み と う こ こ ろ
せ ゆ ん が ぬ へ い の そ う ち た た て る ん }

f
か が や け ひ か り あ ー げ よ そ の な

わ が ま ー な ー び や に さ ー か え あ れ



発 行 山口県立光高等学校光潮同窓会
山口県光市光井 6-10-1
TEL 0833-72-0340 (光高等学校)

印 刷 中村印刷株式会社